

P  
2

## つくば3Eフォーラム・バイオマスタスクフォースの取り組み

筑協「つくば3Eフォーラム委員会」バイオマスタスクフォース

バイオマスタスクフォースは、筑協「つくば3E (Environment, Energy, Economy) フォーラム委員会」の中に設けられているタスクフォースの1つです。つくば3Eの「2030年までに、つくば市の1人あたりの温室効果ガス排出量を2006年(約8.3t/年/人)比で50%削減する」という目標に向い、多くの方々と連携して、バイオマス利活用の面から貢献したいと思っています。

**【バイオマスTFの目的】**：メンバーが自ら及び所属組織の技術と経験を持ち寄ることにより、つくば市におけるバイオマス利活用を推進し、循環型社会形成、田園地域の活性化、人のネットワーク化、地球温暖化防止を含む環境保全に資する。つくば市環境都市推進委員会「田園空間分科会」の取り組みのうち、バイオマス関係のものについて主として研究面からサポートする。

**【メンバー】**：農研機構（農村工学研究所，中央農業総合研究センター，畜産草地研究所），筑波大学，3Ecafeプロジェクトチーム，産業技術総合研究所，国立環境研究所，土木研究所，森林総合研究所，つくば市，茨城県

**【行動計画】**（2008.6.1）：

1. 「つくば市バイオマスタウン構想」を策定する。（現状と様々な利活用シナリオを診断・評価する。）
2. 産学官民参加のモデル実証実験を行う。（実用可能な技術+チャレンジ的な技術を1/100～1/1000規模で3年間程度実施する。）
3. 適正な技術を段階的に適用しつつ，革新的技術を開発する。（モデル実証実験のソフト部分のノウハウを維持して，さらなる革新的技術の登場を待つ。）



補足情報

<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~eeeforum/>